

# ぼうさい 家族防災会議を開こう

とつぜん さいがい  
突然起こる災害。そのとき、家族はどこにだれといるか分かりません。家族が別々に被災しても、日頃から家庭のルールを決めておくと、いざというときに被害を少なくすることができます。

## 1 わが家の「防災連絡カード」

住所	
氏名	
性別	けつえきかた 血液型
生年月日	
緊急連絡先	ポイント①
家族で決めた避難場所	ポイント②

災害が起こったときのために、家族防災会議で話し合って上のような連絡カードを作りましょう。


**ポイント①**：連絡先をいくつか決めておきます。(例：家族の勤務先、祖父母の連絡先、近所の親しい方など。)

**ポイント②**：地域の指定避難所などを最終避難場所としておきますが、必ずいくつか決めて、定期的に確かめ合います。

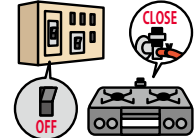
## 2 家族の役割分担

災害時のために、それぞれの役割分担を決めておきましょう。


【例】



《情報収集》  
（担当）



《安全確保》  
ブレーカー・元栓（担当）



《持ち出す物の準備》  
（担当）

## 3 常備品のチェック

- 飲料水（一人一日あたり3リットル）
- 食料品（インスタントラーメン レトルト食品 など）
- カセットコンロ  ティッシュ・トイレットペーパー
- ウエットティッシュ  ガムテープ  ひも・ロープ
- ビニルぶくろ  食器用ラップ  紙皿  紙コップ
- 防寒対策（毛布・フリースなど）  暑さ対策（うちわ、タオルなど）



## 4 防災リュック（非常用持ち出しぶくろ）の準備

防災リュックの中身については、家族の中にお年寄りや小さい子供がいるときには、それぞれが必要な物もちがってきます。日頃から、共通で使うものと家族それぞれが持ち出す物を決めて、いざというときに、すぐ持ち出せるように準備をしておくことが大切です。



- 【例】
- ・わたしのぶくろには子供用の軍手
  - ・おばあちゃんのぶくろには、小さい字が読めるようにルーペ
  - ・お薬手帳

## 5 親子安全点検

月に一度、家の中や周辺的安全を点検しましょう。

(OKなら、に印をつけましょう。)

- 落ちてきそうなもの、倒れてきそうなものはないか。
- 安全な場所に寝ているか。
- にげ道に物が置かれていないか。
- 家具の中身は重いものが下に入れてあるか。
- 玄関の扉の近くは、整頓されているか。

